

2020年10月16日

インド北西部で自動車用ホース新工場が生産を開始 ～旺盛な需要への対応と筋肉質な経営体質の構築を推進～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、インドで事業展開する自動車用ホース製造・販売連結子会社、Tokai Imperial Rubber India Pvt. Ltd.（略称：TIR、本社：インド ハリヤナ州）のグジャラート工場が完成し、生産を開始しましたので、お知らせいたします。



グジャラート州に開設した新工場

当社グループは、世界第2位の人口を有するインドにおいて、2005年にTIRを設立して以来、自動車用防振ゴムや産業用ホースの製造・販売会社の計3社を進出させ、事業を拡大してきました。インドは近年、経済発展とともに世界有数の自動車生産・販売国へと飛躍を遂げています。旺盛な需要を背景にさらなる成長が見込めることから、自動車用ホースの生産能力の増強を図るため、TIRの新工場を建設しました。

新工場は、自動車産業の集積地である同国北西部のグジャラート州に建設し、10月より生産を開始。インド国内に展開する日系自動車メーカー向けに、燃料系やブレーキ系などのゴムホースを製造します。従来のハリヤナ州、ラジャスタン州ニムラナ（いずれも首都・ニューデリー近郊）に加えた3地区体制となり、これにより、サプライチェーン（供給網）の多元化・分散化による生産・供給におけるリスク回避と、お客様に迅速に製品供給する「地産地消」の推進を図ります。

住友理工グループは、将来のさらなる成長が期待されるインド市場で、高付加価値の製品を安定的に供給することにより、さらに競争力ある地位を確立するとともに、全世界で筋肉質な経営体質の構築を進めてまいります。

<新工場の概要>

名称： グジャラート工場
所在地： インド グジャラート州
生産開始： 2020年10月
従業員数： 230名（2029年度見込み）
工場面積： 土地；23,000㎡ 建屋；12,000㎡
投資額： 540百万ルピー（約7.7億円）

<TIRの概要>

名称： Tokai Imperial Rubber India Pvt. Ltd.
所在地： インド ハリヤナ州
事業内容： 自動車用ホースの製造・販売
資本金： 303,310千ルピー（約4.3億円）
議決権比率： 住友理工株式会社 60%、Imperial Auto Industries, Ltd. 40%
設立： 2005年11月
代表者： 社長 岡本明
従業員数： 1,015名（2020年3月時点）

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>